

---

## 令和7年度第1回彦根市環境審議会 会議概要

開催日時：令和7年8月18日(月) 10時～11時30分

開催場所：彦根市役所 5階 会議室5-1

### 【会議の内容】

#### 1 開会

市民環境部長よりあいさつ

#### 2 議題

##### (1) 第3期彦根市環境基本計画および地域行動計画の取組状況について

➤ 資料1～3に基づき、令和6年度の取組状況等について事務局から報告。

➤ 意見等

##### 【基本施策2 生物多様性の保全】

・竹生島等に集中していたカワウが分散し、河川の中流域や住居地で増加しているため、滋賀県では県内を3ブロックに分け、住宅地付近での捕獲等の対策を検討しているため、県と連携して対応していく必要があります。

→県のブロック会議に参加し、市街地付近での対応方法(シャープシューティング等)も情報共有されていますが、住宅地付近での銃猟はハードルが高く、群れが分散することも指摘されているため、今後も先進事例等の収集に努めます。

・希少生物の個体数や分布等の把握はできていますか。

→市としての調査はしていませんが、滋賀県ではレッドデータブックを作成しているため、それにより把握しています。

##### 【基本施策4 環境リスクの低減に向けた取組の推進】

・ホタルの確認場所数について、彦根市の本来の自然を考えると現在の目標値は低く、豊かな自然を守る市民の取組、行政の取組を進める必要があります。

→近年は目標値を達成している状況が続いているため、中間見直しで目標値を上方修正します。ホタル調査等を通じて、河川等の環境について市民に周知していく取組を継続していきます。

・水質を測定している4地点のデータはいつ何回測定したのか。市内には比較的大きな河川や内湖もあるため、測定地点数を増やすことはできないか。

→水質測定は、市内18ヶ所を春夏秋冬の年4回測定しており、環境基本計画では、測定結果の良くない4地点を掲載しています。

- 
- ・水質測定結果について、CODやBODの説明はあるものの、分かりにくいいため、レベル等を示すと分かりやすいと思います。

→記載を検討します。

#### 【基本施策 6 3R の推進】

- ・市民 1 人 1 日当たりのごみ等発生量について、全国平均(880g)を下回っていますが、焼却炉の状況に合わせ、今後更なる減量が必要と思われます。

→彦根市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画では、基準年の令和元年度実績 880g から令和 13 年度には 15%削減し、750g 以下とする目標を立て、令和 6 年度は 12.5%まで削減できています。

現在の焼却炉の長寿命化は、新施設の方向性が定まり次第、新施設稼働までの運用計画を立てることになります。

- ・彦根市は平成 30 年 9 月に災害廃棄物処理計画を策定していますが、滋賀県では計画の見直しを議論されており、ごみ処理方式の変更もあるため、市でも計画の見直しが必要と思われます。

→令和 7 年 4 月 1 日に県内市町で災害等廃棄物の処理に係る相互支援に関する協定を締結しており、今後、災害廃棄物処理計画についても見直しを進めていきます。

- ・古紙回収について、店舗回収や町内会で回収し収益化するなどの方法がありますが、清掃センターに持ち込まれた古紙は収益化されていますか。

→清掃センターで回収した古紙についても、古紙業者に売却しています。

#### 【基本施策 9 緩和策の推進】

- ・温室効果ガスの排出量について、国や県においても同様ですが、原子力発電所の発電割合が増えると下がり、火力発電所の割合が増えると上がり、個人や企業の努力よりも排出係数の影響を大きく受けるため、温室効果ガスの排出量のほかにも、補足的に分かりやすいものがあると良いと思います。

→過去の審議会でもご指摘いただいており、中間見直しにおいて指標を追加します。

#### 【基本施策 11 人づくり・仕組みづくり】

- ・自然ウォッチングガイドの作成等について、市の予算に優先順位はあると思いますが、市民のより良い生活を考え、今後の環境施策に必要な啓発に係る経費は何とか捻出し、確保する必要があります。

→担当課としても必要な経費は確保したいという思いであり、予算確保の努力をしていきます。

- ・生活環境課のページの閲覧数が増えていることについて、閲覧されているコンテン

---

ツに明確なパターンはありますか。

→ごみ関係のページが多く見られており、その中でも、市内で古紙等の店舗回収をしている場所を掲載したページが多く閲覧されていることから、近くの持ち込みやすいスポットを利用いただいているものと思われます。

#### 【その他】

- ・資料の形式について、達成率何%という評価は、基準値より悪くなっても8割達成の表記となることもあり、定量的な数字だけではなく、定性的な評価も併せてした方が、基準から最終目標までの進捗が分かりやすいと思います。
- 資料の評価の欄は、達成または未達成の場合は進捗をパーセンテージで掲載していますが、ご指摘のとおり基準値との比較は分かりにくい部分もあるかと思えます。基準値と実績値の比較については、資料2のグラフで示しており、過去の推移とともに目標の達成状況を確認できるため、公表の際は資料2も併せて公表します。

#### (2) 計画の中間見直しについて

- ・環境学習について、市民参画による小中学校と連携した環境学習活動の積み重ねが重要であると滋賀県の環境審議会でも言われているため、教育委員会等とも連携し、推進していただきたいと思えます。

#### (3) その他事務連絡等

##### ➤ 事務局説明

- ・議題1について、意見については担当課で確認し、今後の取組を検討し、年明け頃にお知らせする。
- ・中間見直しについては、今年度中に改定し、公開する。

### 3 閉会